

Level4_1: 私と小鳥と鈴と (金子みすゞ)

私が両手をひろげても

お空はちっとも飛べないが

飛べる小鳥は私のように

地面を速く走れない

私が体をゆすっても

きれいな音はでないけど

あの鳴る鈴は私のように

たくさん唄は知らないよ

鈴と、小鳥と、それから私、

みんなちがって、みんないい

Level4-2: 彼は (千家元麿)

かれ 彼はどこにでも居る。

せいめい 生命の火はどこにでも居る。

ど 何処にでもめぐり、何処にでも隠れて居る。

き 気がつけば彼は露骨だ。

かれ みず なか さかな みず なか 彼は水の中にもいる。魚となつて水の中にいる

び 美くしい金魚となつて瓶の中にも居る。笑いの中にも涙の中にも

かれ ひとびと あめ なか やみ なか 彼は人々がいやがる雨の中にも、闇の中にもいる。

き 木の中にもいる。おんな こども いぬ ねこ なか 女や子供や犬や猫の中にもいる。

み 見よ、どこにでも彼はいる

ろ こつ ろ こつ 露骨なる彼は。

Level4-3: お菓子 (かし) (みずたにまさる)

わたしがもしも王子なら

家来を呼んで云いつけよう。

子供をみんなつれて来て

おいしいお菓子を分けてやれ。

二つのお手にのらぬほど

たくさんたくさん分けてやれ。

けれど、わたしは王子じゃない

お菓子屋の店の前に立ち、

今日もお菓子に見とれては

そういうことを思うだけ。